

1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]	事業箇所	都留市上谷	地区名	元坂Ⅱの2 (モトサカニノニ)	事業主体	山梨県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
<p>①課題・背景</p> <p>元坂Ⅱの2地区は山梨県東部の都留市上谷に位置する急傾斜地であり、平成23年8月11日には土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。当該斜面は平均斜面高20m、平均勾配42度の急傾斜地で、保全対象には人家6戸、集合住宅6戸、市道があり、当該斜面が崩壊した場合、人名に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○崖崩れ被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害実績：無 ・保全人家戸数：人家6戸、集合住宅6戸 (換算33戸) <li style="padding-left: 20px;">換算後合計39戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：有：(市道 (避難路)) <li style="padding-left: 20px;">(保全対象=人家6戸、集合住宅6戸 (換算33戸)、市道 L=200m) <p>※評価基準値</p> <p>□副次目標 —</p> <p>□副次効果 —</p>				<p style="text-align: right;">妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</p> <p>急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)</p> <p>急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>③経済妥当性</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>300 百万円</td> <td>工期</td> <td>R6~R15</td> <td>基準年</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>236 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">3,015 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>236 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">876 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">183 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">87 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">1,869 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">B/C</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">12.8</td> </tr> </table> <p>※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失)</p> <p>費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている</p>				総事業費	300 百万円	工期	R6~R15	基準年	R5	経済効率性	費用	236 百万円	便益	3,015 百万円		建設費	236 百万円	一般資産被害抑止	876 百万円				人身被害抑止	183 百万円				公共土木施設等被害	87 百万円				その他※	1,869 百万円		B/C			12.8		
総事業費	300 百万円	工期	R6~R15	基準年	R5																																								
経済効率性	費用	236 百万円	便益	3,015 百万円																																									
	建設費	236 百万円	一般資産被害抑止	876 百万円																																									
			人身被害抑止	183 百万円																																									
			公共土木施設等被害	87 百万円																																									
			その他※	1,869 百万円																																									
B/C			12.8																																										
(2) 整備内容				④事業実施・規模の妥当性																																									
<p>①整備内容 吹付砕工 A=3,000m²</p> <p>②着手年度 令和6年度 ③完成見込年度 令和15年度</p> <p>④総事業費 約300百万円 (国費:135百万円(4.5/10)、県費:135百万円(4.5/10)、その他:30百万円(1.0/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和6年度</td> <td>地形測量、地質調査、詳細設計</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>用地測量、用地取得、立木補償</td> <td>10 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和12年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和13年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>40 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和14年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>40 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和15年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>40 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未整備 				令和6年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円	令和7年度	用地測量、用地取得、立木補償	10 百万円	令和8年度	吹付砕工	30 百万円	令和9年度	吹付砕工	30 百万円	令和10年度	吹付砕工	30 百万円	令和11年度	吹付砕工	30 百万円	令和12年度	吹付砕工	30 百万円	令和13年度	吹付砕工	40 百万円	令和14年度	吹付砕工	40 百万円	令和15年度	吹付砕工	40 百万円	<p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>地形条件を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>地形・地質状況から急傾斜地対策として最も効果的かつ経済的な施設計画とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>環境負荷の少ない工法を採用するとともに、必要最小限の掘削とした。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>地元要望に基づいており、都留市から受益者負担金の同意は得られている。</p>											
令和6年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円																																											
令和7年度	用地測量、用地取得、立木補償	10 百万円																																											
令和8年度	吹付砕工	30 百万円																																											
令和9年度	吹付砕工	30 百万円																																											
令和10年度	吹付砕工	30 百万円																																											
令和11年度	吹付砕工	30 百万円																																											
令和12年度	吹付砕工	30 百万円																																											
令和13年度	吹付砕工	40 百万円																																											
令和14年度	吹付砕工	40 百万円																																											
令和15年度	吹付砕工	40 百万円																																											
				総合評価																																									
				[貢献度ランク：a]																																									
				<p>(4) 事業位置図等</p>																																									

2. 添付資料シート

【斜面鳥観図】



20m

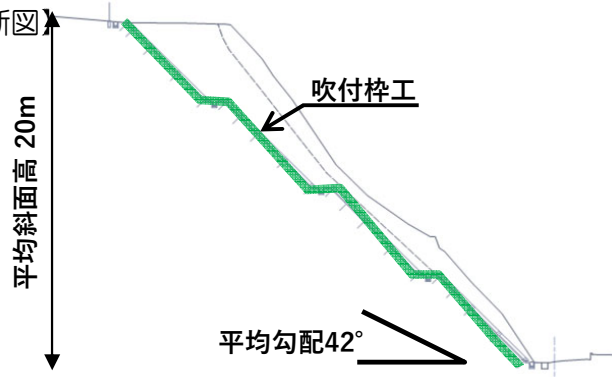
【平面図】



③斜面状況(全景)



【標準横断面】



①保全対象



②斜面荒廃状況

